

Sagabi News 65

65

2017(平成29)年度収支決算報告

本学園は、学生から納付された授業料等の学納金と国庫補助金を大きな収入源としており、その他、種々の手数料や寄付金を加えて、学生の教育や課外活動、教員の研究活動、地域社会との連携事業等にかかる経費を賄っています。また、日々の教育研究活動を支える校舎の安全性・利便性確保やコンピュータをはじめとする設備の更新を行いつつ、収支のバランスを保ちながら拡充のために投資や将来に向けての積立を行います。

○4つの計算書類

資金収支計算書は、1年間の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容と資金の顛末を表す計算書です。その資金収支を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」と3区分に組み替え、活動ごとのキャッシュフローを明確にする目的で新設されたのが、活動区分資金収支計算書です。また事業活動収支計算書は従来の消費収支計算書を改良したもので、1年間の学校の事業に係る収入と支出の内容と均衡の状態を明らかにするもので、企業会計でいう損益計算書にあたります。大学は営利団体ではないので、利益を出すことを目的とはしていませんが、収支のバランスが取れた安定した経営が望まれます。また貸借対照表は、年度末の資産と負債、純資産の状況を示しています。

○資金収支計算書の主な科目について

資金収支計算書の収入に関わる科目として、学生生徒等納付金収入は文字通り、学生から徴収した学費です。大学の最も大きな収入源となります。手数料収入は入学検定料や証明手数料、華道免許等申請手数料などが含まれます。寄付金収入には寄付の目的を特定した特別寄付金と教育施設・設備拡充資金として教育全般を支援いただいている一般寄付金の2種類があります。補助金収入は国と地方公共団体からの補助金です。資産売却収入は施設や設備、有価証券などの資産を売却した時に生じる収入です。付随事業・収益事業収入には学生寮の収入である補助活動収入、各種団体からの受託事業による収入や生涯学習講座受講料などの公開講座収入などが含まれます。受取利息・配当金収入は預金の利息等の収入をいいます。雑収入は施設利用料の収入や本学園が加入する私立大学退職金財団から交付される退職資金の収入が主です。前受金収入とは次年度分の授業料等で前年度に受け入れた額をいいます。学校会計では前年度の前受金を資金収入調整勘定の中で差し引いて調整しています。一方、支出に関わる科目として、まず人件費支出があります。人件費には専任教職員・非常勤教職員、役員すべての人件費と退職金がこれに含まれます。教育研究経費支出は学校本来の事業である教育研究活動を支えるすべての経費のことで、消耗品費や光熱水費、通信運搬費、修繕費、支払手数料、奨学金などに分かれています。管理経費支出も同様に分かれています。中身は法人運営業務や人事に係る費用、学生募集・広報の経費に限られます。借入金等利息支出・借入金等返済支出は文字通り、返済した借入金利息と元金のこと。施設関係支出は建物や構築物、設備関係支出はコン

ピュータや視聴覚機器などの教育研究用機器備品や管理的業務に使用する機器備品、図書などへの新たな投資額を指します。資産運用支出とは特定の目的をもって資金を積み立てるものです。

○活動区分資金収支計算書の見方

教育活動による資金収支は、資金収支計算書の資金収入及び資金支出のうち、「施設整備等活動」及び「その他の活動」による資金収支をのぞいたもので、キャッシュベースでの本業の教育活動の収支状況を見ることができます。施設整備等活動による資金収支は、施設・設備の取得または売却その他これらに類する活動に係る収支をいいます。（「その他これらに類する活動」とは、資産の増加を伴う施設もしくは設備の改修等であり、施設設備の修繕費や除却に伴う経費は含みません。）当年度に施設設備の購入があったか、財源がどうだったかを見ることができます。その他の活動による資金収支は、財務活動、収益事業活動、預り金の受払い等の経過的活動に係る資金収支並びに収支を伴う過年度修正額をいいます。具体的には、①借入金(学校債)等の借入、返済に係る収支、②有価証券の購入、売却に係る収支、③受取利息・配当金、支払利息等であり、借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見ることができます。

○事業活動収支計算書の見方

事業活動収支計算書は従来の消費収支計算書の改良版です。経常的及び臨時的収支に区分して、それぞれの収支状況を把握できるよう改正されました。さらに経常的な収支を「教育活動収支」と「教育活動外収支」に分けて把握することができます。

各収支の収入の部は、資金収支計算書の学生生徒等納付金収入から雑収入までとほぼ同じで、特別収支に現物寄付の額が新たに加算されています。借入金のように学校法人の負債となるような外部資金は含まず、すべて学校に帰属する収入のみとなっています。

一方、各収支の支出の部は、資金収支計算書の人件費から借入金等利息までとほぼ同じ内容ですが、教育研究経費と管理経費にそれぞれ過去に取得した建物や機器備品の減価償却額を経費として加えています。その他、古くなった資産を処分したことによる費用(資産処分差額)や徴収不能額等を計上しています。施設設備の維持と拡充などにあてるための基本金を最後に差し引いて(組入れて)、当年度の収支差額を出す方式に改められました。

当年度の主な施設設備の整備

平成29年度は施設設備関係の整備として、研心館エレベーター設置工事、研心館ロールカーテン設置工事、研心館地下受水槽シート防水工事、有響館多目的トイレ信号工事、研心館実習室改修工事、排水処理施設工事、網戸新調取替工事を実施しました。

財政の状況

資金収支計算書の収入の部では、学生数の増加に伴い、学生生徒等納付金は前年度に比べ大幅に増加しました。補助

金では、競争的補助金である「私立大学等改革総合支援事業補助金」が5件選定されましたが、嵯峨美術大学の入学定員超過により一般補助金が大幅にカットされ、減額となりました。支出の部では、人件費の抑制に努める一方、教育研究経費は教育の質保証と、学生の経済的負担軽減の観点から前年度より増額し、約3千万円、約10%増となりました。平成25年度に大幅に増加した光熱水費が、省エネと新電力の採用により、昨年よりさらに約4百万円の減少となりました。学生への奨学金は約2千万円、約31%の大幅増となりました。活動区分資金収支計算書から見た資金の状況は、教育活動による資金収支が約2億5千万円のプラスとなりました。施設整備等活動による資金収支は、将来の施設設備更新に備え、減価償却引当特定資産への積立が2億円増加したため、約2億

9千万円のマイナス、さらにその他の活動による資金収支は、約3百万円のプラスとなり、支払資金は約3千5百万円の減額となりましたが、資金の状況は健全な状況を維持しています。事業活動収支では、教育活動収支が約6千3百万円の黒字、少額の教育外収支を加えた経常収支で約6千4百万円の黒字を計上し、昨年に引き続き経常収支差額が黒字となりました。さらに特別収支で約8百万円の現物寄付を加えた基本金組入前収支は、約7千2百万円の黒字となりました。現物寄付と施設設備投資による基本金の組入れは、約9千7百万円となり、当年度の収支差額は、約2千5百万円の赤字となりました。年度末の資産と負債等の状況は、貸借対照表の通り、約92億の資産を有し、負債は約10億1千万円で、純資産は約82億となっています。

2017(平成29)年度 収支決算

【資金収支計算書】 2017(平成29)年4月1日～2018(平成30)年3月31日

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,225,283	1,203,507	21,776
手数料収入	16,883	17,880	△ 997
寄付金収入	4,345	4,592	△ 247
補助金収入	123,715	145,358	△ 21,643
付随事業・収益事業収入	12,953	13,735	△ 782
受取利息・配当金収入	1,858	1,882	△ 24
雑収入	44,602	45,227	△ 625
前受金収入	215,385	284,156	△ 68,771
その他の収入	54,760	191,013	△ 136,253
資金収入調整勘定	△ 326,175	△ 309,889	△ 16,286
前年度繰越支払資金	1,448,715	1,448,715	――
収入の部合計	2,822,324	3,046,177	△ 223,852

(単位:千円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	731,074	730,758	316
教育研究経費支出	347,661	327,969	19,692
管理経費支出	143,596	138,563	5,033
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	73,058	72,806	252
設備関係支出	9,101	10,601	△ 1,500
資産運用支出	200,000	340,000	△ 140,000
その他の支出	118,643	109,472	9,171
(予備費)	10,000	――	10,000
資金支出調整勘定	△ 69,048	△ 98,069	29,021
次年度繰越支払資金	1,258,239	1,414,076	△ 155,837
支出の部合計	2,822,324	3,046,177	△ 223,852

【活動区分資金収支計算書】 2017(平成29)年4月1日～2018(平成30)年3月31日 (単位:千円)

科 目			金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,203,507
		手数料収入	17,880
		特別寄付金収入	3,114
		一般寄付金収入	1,478
		経常費等補助金収入	145,358
		付随事業収入	13,735
	支出	雑収入	45,227
		教育活動資金収入計	1,430,299
		人件費支出	730,758
		教育研究経費支出	327,969
		管理経費支出	138,563
		教育活動資金支出計	1,197,290
	差引		233,009
施設整備等活動による資金収支	収入	調整勘定等	18,518
		教育活動資金収支差額	251,526
		減価償却引当特定資産取崩収入	140,000
		施設整備等活動資金収入計	140,000
		施設関係支出	72,806
		設備関係支出	10,601
	支出	減価償却引当特定資産繰入支出	340,000
		施設整備等活動資金支出計	423,407
		差引	△ 263,407
		調整勘定等	△ 6,196
		施設整備等活動資金収支差額	△ 269,604
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 38,077
その他の活動による資金収支	収入	預り金受入収入	1,295
		仮払金回収収入	308
		仮受金受入収入	0
		小計	1,603
		受取利息・配当金収入	1,882
		その他の活動資金収入計	3,485
	支出	借入金等返済支出	0
		仮受金支払支出	47
		小計	47
		借入金等利息支出	0
		その他の活動資金支出計	47
		差引	3,438
	調整勘定等		0
	その他の活動資金収支差額		3,438
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 34,639
	前年度繰越支払資金		1,448,715
	翌年度繰越支払資金		1,414,076

【事業活動収支計算書】 2017(平成29)年4月1日～2018(平成30)年3月31日(単位:千円)

科 目				予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,225,283	1,203,507	21,776	
		手数料	16,883	17,880	△ 997	
		寄付金	4,761	4,592	169	
		経常費等補助金	123,715	145,358	△ 21,643	
		付随事業収入	12,953	13,735	△ 782	
		雑収入	44,602	48,197	△ 3,595	
	支出の部	教育活動収入計	1,428,197	1,433,270	△ 5,073	
		人件費	724,513	723,921	592	
		教育研究経費	512,461	493,706	18,755	
		管理経費	158,523	152,271	6,252	
		徴収不能額等	9,150	771	8,379	
		教育活動支出計	1,404,647	1,370,669	33,978	
教育活動外収支	収入の部	教育活動収支差額	23,550	62,601	△ 39,051	
		受取利息・配当金	1,858	1,882	△ 24	
		教育活動外収入計	1,858	1,882	△ 24	
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	
		教育活動外収支差額	1,858	1,882	△ 24	
特別収支	収入の部	経常収支差額	25,408	64,483	△ 39,075	
		その他の特別収入	7,502	8,054	△ 552	
		特別収入計	7,502	8,054	△ 552	
	支出の部	資産処分差額	0	42	△ 42	
		特別支出計	0	42	△ 42	
		特別収支差額	7,502	8,012	△ 510	
	基本金組入前当年度収支差額		22,910	72,495	△ 49,585	
	基本金組入額合計		△ 82,159	△ 97,062	14,903	
	当年度収支差額		△ 59,249	△ 24,567	△ 34,682	
	前年度繰越収支差額		△ 3,294,213	△ 3,294,213	0	
	翌年度繰越収支差額		△ 3,353,462	△ 3,318,780	△ 34,682	

【貸借対照表】 2018(平成30)年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	7,769,036	固定負債	588,231
流動資産	1,451,556	流動負債	419,596
資産の部合計	9,220,592	負債の部合計	1,007,827
		基本金	11,531,545
		繰越収支差額	△ 3,318,780
		純資産の部合計	8,212,765
		負債及び純資産の部合計	9,220,592

【貸借対照表の状況】 (単位:百万円)

流動資産	1,452	負債	1,008
固定資産	7,769	基本金+繰越収支差額=純資産	8,213
資産の部		負債及び純資産の部	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

2018(平成30)年度 予算編成に係る 基本的方針・収支予算書

【平成30年度予算編成方針】

(平成29年9月27日理事会決定)

【基本方針】

- 事業活動の収入増加を図る
 - ・入学定員確保による学納金の安定、拡大
 - ・私立大学等経常費補助金一般補助の確保と競争的補助金の獲得
 - ・受託事業収入の拡大
- 経常収支差額の均衡を目指し、メリハリのある予算配分を実施
 - ・教育力向上のための取組への支援
 - ・奨学金事業を含めた学生支援への重点的配分
 - ・費用対効果を踏まえた事業の見直し
- 将来を見据えた人事施策の実施
 - ・給与体系の計画的な見直し
 - ・新たな人事制度の設計
- 施設・設備の更新に備えた引当特定預金への積立

【重点項目】

- 入学定員確保のための学生募集に係る諸事業
 - ・効果的な学生募集活動の強化
 - ・高大連携事業の推進
- 教育支援・学生支援体制の強化
 - ・教育の質向上への取組
 - ・奨学金事業の継続
 - ・学生に対しての多様な支援
 - ・キャリア支援の充実
 - ・学生数に応じた教員配置
- 人件費の適正化
 - ・新たな給与体系の設計
- 教職員の資質向上
 - ・SD・FD研修の実施
 - ・教育職員評価制度の検討
 - ・事務職員評価制度の検討
- 外部資金の獲得
 - ・一般補助の確実な獲得
 - ・受託事業の展開
- 施設・設備の改善
 - ・卒業・修了制作展学内実施に伴う施設整備
 - ・工房汎用化への検討
 - ・学内ネットワーク環境の改善とデジタル機材・ソフトウェアの一括管理化への検討

【2018(平成30)年度 資金収支予算書】		(単位:千円)	
収入の部		支出の部	
科 目	予 算	科 目	予 算
学生生徒等納付金収入	1,302,020	人件費支出	837,220
手数料収入	16,883	教育研究経費支出	353,030
寄付金収入	4,445	管理経費支出	148,450
補助金収入	100,515	借入金等利息支出	0
資産売却収入	0	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	12,923	施設関係支出	3,500
受取利息・配当金収入	1,474	設備関係支出	56,124
雑収入	101,686	資産運用支出	200,000
前受金収入	215,385	その他の支出	93,967
その他の収入	43,291	(予備費)	10,000
資金収入調整勘定	△ 331,573	資金支出調整勘定	△ 163,613
前年度繰越支払資金	1,258,239	翌年度繰越支払資金	1,186,610
収入の部合計	2,725,288	支出の部合計	2,725,288

【2018(平成30)年度 活動区分資金収支予算書】		(単位:千円)	
教育活動による資金収支	科 目		予 算
	収入	学生生徒等納付金収入	1,302,020
		手数料収入	16,883
		特別寄付金収入	3,045
		一般寄付金収入	1,400
		経常費等補助金収入	100,515
		付随事業収入	12,923
		雑収入	101,686
	支出	教育活動資金収入計	1,538,472
		人件費支出	837,220
		教育研究経費支出	353,030
		管理経費支出	148,450
		教育活動資金支出計	1,338,700
差引		199,772	
調整勘定等	△	7,927	
教育活動資金収支差額		191,845	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	0
		施設設備補助金収入	0
		施設設備売却収入	0
		施設整備等活動資金収入計	0
	支出	施設関係支出	3,500
		設備関係支出	56,124
		減価償却引当特定資産繰入支出	200,000
	差引		259,624
	調整勘定等	△	259,624
	施設整備等活動資金収支差額	△	258,948
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△	67,103	
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0
		預り金受入収入	4,000
		小計	4,000
		受取利息・配当金収入	1,474
		その他の活動資金収入計	5,474
	支出	借入金等返済支出	0
		預り金支払支出	0
		仮払金支払支出	0
		小計	0
		借入金等利息支出	0
		その他の活動資金支出計	0
	差引		5,474
	調整勘定等		0
その他の活動資金収支差額		5,474	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△	61,629	
前年度繰越支払資金		1,258,239	
予備費		10,000	
翌年度繰越支払資金		1,186,610	

【2018(平成30)年度 事業活動収支予算書】		(単位:千円)	
教育活動収支	科 目	予 算	
	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,302,020
		手数料	16,883
		寄付金	5,445
		經常費等補助金	100,515
		付随事業収入	12,923
	事業活動支出の部	雑収入	101,686
		教育活動収入計	1,539,472
		人件費	827,099
		教育研究経費	516,805
管理経費		161,207	
事業活動支出の部	徴収不能額等	6,400	
	教育活動支出計	1,511,511	
	教育活動収支差額	27,961	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,474
	事業活動支出の部	その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	1,474
		借入金等利息	0
	その他の教育活動外支出	教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	1,474
經常収支差額	29,435		
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
	事業活動収入の部	その他の特別収入	0
		特別収入計	0
		事業活動支出の部	資産処分差額
	その他の特別支出		0
	特別支出計		0
	特別収支差額	0	
	[予備費]	10,000	
	基本金組入前当年度収支差額	19,435	
	基本金組入額合計	△ 59,624	
当年度収支差額	△ 40,189		
前年度繰越収支差額	△ 3,360,964		
翌年度繰越収支差額	△ 3,401,153		
(参考)			
事業活動収入計	1,540,946		
事業活動支出計	1,521,511		

大学報告

入学宣誓式報告

2018(平成30)年度入学宣誓式を4月2日(月)に挙行いたしました。伊勢俊雄理事長、森本武学長より式辞があり、藤原啓治教育後援会会長より祝辞をいただきました。在学生を代表して菅原熙響さんによる歓迎の言葉が述べられたのち、芸術学部造形学科の平井実愛さんによる新入生宣誓が行われ、初々しい空気の中、閉式いたしました。なお、本年度の入学生は右記の通りです。(管理運営グループ)

[嵯峨美術大学大学院]	
● 芸術研究科	11名
[嵯峨美術大学]	
● 造形学科	50名(内3年次編入生2名)
● デザイン学科	122名
小 計	172名(内3年次編入生2名)
[嵯峨美術短期大学]	
● 専攻科	22名
● 美術学科	185名
小 計	207名
合 計	390名(内3年次編入生2名)



2017年度進路概況とキャリア支援の取り組み

2018年3月(2017年度)卒業・修了生の就職状況は、就職希望者に対し大学(大学院含む)が85.0%、短期大学(専攻科含む)が 79.7%、大・短合わせ82.1%という就職率となりました(2018年5月1日現在)。大学院、専攻科等への進学者は、大・短合わせ31名でした。現在の就職・採用活動の時期は、企業側が優秀な人材確保に内定を前倒しして囲い込みを進め、「申合せ」が形骸化していることが学生の報告や報道などからもあきらかとなっています。そこで本学キャリア支援の取り組みでは、就職活動の早期化傾向に対応できるよう、特に卒業前年次のサポートを重視しています。なかでも力を入れているキャリアプログラム科目の「キャリアデザイン演習A・B」と「キャリア実践演習」は、卒業前年次の前・後期を通じて履修することで、卒業・修了年度に入る直前の3月にはきちんと就職戦線で戦っていける力が身につく設計となっています。前期前半にはキャリア形成について学び、前期後半には就職活動

におけるインターンシップの意味を理解します。後期には、業界研究、自己分析、SPI対策、ビジネスマナー、ポートフォリオ作成など就職活動に直結する知識や技術を体系的に身につけ、就職活動に臨む準備とします。また、毎年2月には多数の企業を大学にお迎えし、業界・企業研究会を実施します。就職活動の直前に、業界の実際の仕事への理解を深める場として多数の学生が参加しています。

(教務・学生支援グループ キャリア支援窓口)



業界・企業研究会

NEWS

告知

2019年度 大学案内が完成しました！

昨年の秋より制作を進めてきた2019年度大学案内が完成いたしました。

今年の表紙は写真を大きく使い、本学ののびのびした制作風景や、親しみやすい雰囲気が一目で伝わるデザインとなりました。なかのページでは、各学科・領域の紹介はもちろん、学生の制作に打ち込む様子や、大学を取り巻く嵯峨野の風景など、嵯峨美の日常がわかる美大らしい大学案内になっています。

また今回特に、美大生の大学生活をリアルに伝えるため、サークル、自主活動、時間割などを在学生から取材し、受験生がより学生生活を身近に感じる内容としました。

今年度もアート、デザイン、企画関係など多方面で活躍している近年の卒業生を紹介しており、嵯峨美で学んだ

ことや、それが今の仕事にどう役立っているかを語ってもらっています。受験生にアート・デザインの可能性を理解してもらえる内容ともなっています。

嵯峨美の学びと環境、教員と学生のまなざしを伝えるこの大学案内が、今年度の学生募集に役立つことを願っています。(入学広報グループ)



告知

入学関係情報

今年度のオープンキャンパスは、4月29日(日)〈予約型〉、5月20日(日)、7月22日(日)、8月19日(日)、10月28日(日)〈学園祭同時開催〉、3月24日(日)に行います。また、本格的な実習授業を体験する体験入学を5月27日(日)、6月17日(日)、7月8日(日)〈AOプレ体験〉、9月16日(日)に行います。ほかに年5回のキャンパス見学会や、9月30日(日)の実技試験対策講習会、2月の制作展見学ツアーなど、本学の魅力をアピールする企画を実施します。

入試は昨年度と同様、AO入試、指定校推薦入試、公募制推薦入試、合格者に年額50万円の給付奨学金が給付されるスカラシップ(特別奨学生)入試(11月・3月実施)、センター試験利用入試、一般入試(前・後期)となります。

スカラシップ(特別奨学生)入試以外にも、「AO入試教育支

援奨学金」(合格者全員に10万円給付)や、申請資格を満たした方に給付する「推薦入試奨学金」(大学:37万5千円、短期大学:30万円)等、返済不要の給付型奨学金制度を設けています。

このような取り組みをすすめ、今後も更なる受験者増をめざしたいと考えております。(入学広報グループ)



TOPICS

展覧会報告

卒業生むすび個展「WHITE NOTE」報告

5月15日から21日まで、本学「アートスペース嵐」玄関ホールギャラリーで、2008年短期大学イラストレーション領域の卒業生むすびさんの個展「WHITE NOTE」を開催しました。むすびさんはTwitterで1万人のフォロワーを持つなど若い世代に人気のイラストレーターで、鉛筆と透明水彩で描かれた中性的な少女のイラストレーションは、登場人物のさまざまな心模様を繊細に表現しています。「描かれていない部分(余白)を大切に描いています。何も描かれていないところが表現の一部として物語っているような作品を目指しています」(作者談)。イラストレーションの他にもTシャツやポストカードなどのグッズ、作品集など、過去3年間に行った作品展で発表した作品をまとめて鑑賞できるものとなりました。在学生にもファンは多く、会

期中大勢の学生が会場を賑わせていました。また、5月20日のオープンキャンパスでも多くの受験生の人気を集めていました。(嵯峨美術短期大学・神谷三郎准教授)



本学関係者による展覧会情報

堂東 由佳/嵯峨美術大学

油画・版画領域 版画・写真工房 非常勤講師

「7月あたりの堂東さんと桐月さんと宮田さん」

会 期：7月17日(火)～29日(日) ※月曜休廊
会 場：ギャラリー恵風1階(京都・聖護院山王)
<http://g-keifu.com/>

附属博物館スケジュール

「2018年度大学院芸術研究科中間発表展」

会 期：7月25日(水)～8月3日(金)
時 間：12:00～17:00

※大学の授業や行事により、展覧会の内容や日時を変更する場合があります。

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

「現代の祈りのかたち」

会 期：7月11日(水)～15日(日)
時 間：10:00～18:00(最終日:16:00まで)

「2018年度大学院芸術研究科中間発表展」

会 期：7月25日(水)～8月3日(金)
時 間：12:00～17:00

「shu・ha・ri」(芸術学部造形学科日本画・古画領域3・4年次展)

会 期：8月6日(月)～11日(土・祝)
時 間：9:00～17:00

「平成30年度前期生涯学習講座受講生作品展」

会 期：9月4日(火)～11日(火)
時 間：10:00～17:00

「大槻香奈プロジェクト～山の神と私達～(仮)」

会 期：9月16日(日)～23日(日・祝)
時 間：11:00～17:00

「arkhe」(美術学科日本画2年次・専攻科展(仮))

会 期：9月25日(火)～29日(土)
時 間：10:00～17:00(最終日:16:30まで)

※大学の授業や行事により、展覧会の内容や日時を変更する場合があります。

「アートスペース嵐」(玄関ホール・玄関ホールギャラリー) スケジュール

「宝石展」(玄関ホールギャラリー)

会 期：7月4日(水)～10日(火)
時 間：9:00～19:00(最終日:17:00まで)

「影響する陶Ⅱ」(玄関ホール)

会 期：7月4日(水)～17日(火)
時 間：9:00～18:00(最終日:16:00まで)

「芸術学部デザイン学科生活プロダクト領域3年次・時を感じる展示」 (玄関ホールギャラリー)

会 期：7月19日(木)～22日(日)
時 間：9:00～17:00(初日:12:50から、最終日:16:00まで)

「2018年度大学院芸術研究科中間発表展」

(玄関ホール、玄関ホールギャラリー)

会 期：7月25日(水)～8月3日(金)
時 間：12:50～17:00

二藍
今号の色

二藍(ふたあい)とは、藍の上に紅花を染め重ねた明るく渋い青紫色のことです。古くは紅のことを「紅藍」と表記し、色名はこの紅藍と藍の二色の藍で染めたという意味から。この染色が行われるのは平安時代からで、若年ほど紅を強めに、壮年ほど藍を強くするため、二藍は使用者の年齢によって各種存在していました。「源氏物語」では、「光源氏」が息子の「夕霧」に対し「紅みの強い二藍では軽く見られる」と嘆める場面があります。二藍は、「源氏物語」の他に「栄華物語」や「蜻蛉日記」などの平安文学でよく見られる当時の人気の色でした。

「アートスペース嵐」(遊意館2Fラウンジ) スケジュール

「絵画道場「絵画の意志」展Vol.74・福田桃花+八坂海咲」

会 期：7月4日(水)～20日(金)
時 間：9:00～18:00(最終日:16:00まで)

※大学の授業や行事により、展覧会の内容や日時を変更する場合があります。

連続公開講座「京の美意識」

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知恵と美意識について、今年度は「京都の住」をテーマに講師をお招きして、ご講演いただいています。

第118回 「京町家の再生～住み継ぐ暮らし～」

日 時：9月29日(土) 14:20～15:50

講 師：小島 富佐江 氏 <特定非営利活動法人京町家再生研究会・理事長>

※有響館4階・G401教室にて開催(参加無料)

お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

絵本読み語り「あらし山びこ」

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時と一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日 時：7月21日(土) 13:00～14:00

テーマ：本プログラム「うみ」

日 時：9月15日(土) 13:00～13:30

テーマ：えほんとおそぼ

※有響館1階・附属図書館内に開催(参加無料)

大学授業・行事などにより開催日時、テーマなどを変更する場合があります。

お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会の主催でフリーマーケットを開催しています。学内を会場に、リサイクル品だけでなく、学生の手作りグッズから世界にひとつの作品まで、美大ならではのラインナップが並びます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご出展いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

日 時：7月15日(日) 11:00～16:00

場 所：ギャラリー棟前・芝生エリアなど

※天候や、大学授業・行事などにより開催日時を変更・中止にする場合があります。

お問い合わせ先：TEL.075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

<訂正とお詫び>

4月1日発行の広報誌(Sagabi News)64号に掲載した記事「学生コラボ「枚方蔭屋書店」装飾・演出」で、村岡香織さんの所属領域、学年に誤りがありました。正しくは以下のとおりです。訂正し、お詫びをいたします。(入学広報グループ)

(誤) 村岡香織さん(デザイン学科生活プロダクト領域3年生)

(正) 村岡香織さん(デザイン学科観光デザイン領域2年次生)

大学関連行事予定 Jun.2018 - Spt.2018

6月	10日(日)・・・ホームカミングデイ 17日(日)・・・体験入学	9月	3日(月)・・・前期集中授業 8日(土)・・・後期通常授業開始
7月	8日(日)・・・体験入学(AOI期プレ体験) 22日(日)・・・オープンキャンパス	14日(金)・・・体験入学	16日(日)・・・AO入試Ⅲ期(体験授業型)
31日(火)・・・授業予備日		23日(日・祝)・・・入試対策実技講習会	30日(日)・・・入試対策実技講習会
8月	4日(土)・・・AO入試Ⅰ期(体験授業型) 3日(金)・・・オープンキャンパス		
19日(日)・・・オープンキャンパス			
25日(土)・・・AO入試Ⅱ期(コミュニケーション型)			



学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第65号 2018年6月15日発行 編集：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行：学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp

